



笑顔いっぱい

長子配布

令和5年9月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

文責 田崎 正剛

【学校教育目標】

学ぶことは楽しいことだと実感し、夢や志をもち、意欲的に取り組む児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

好きこそものの上手なれ

7月21日に土曜等開校日で「特技披露集会」を開催しました。武雄小には、人前に出て緊張せずに頑張れる子どもが多いことが分かりうれしく思いました。約20組が予選会を通過し、1～6年生が特技を披露しました。文化面では、国旗の国名当て、クイズ作成、英語、絵、合奏、ピアノ、ルービックキューブなど。スポーツ面では、縄跳び、ダンス、跳び箱、バトン、バスケットボール、野球など。大きな拍手をもらっていました。先生たちもバスケや野球、跳び箱、レスキューなどで特技を披露していました。

自分が好きなこと、興味のあることを楽しみながら続けるといつの間にか上手になっていること、人から驚かれるような存在になっていることがあります。また、長年続けるとそれが生きがいになることもあるでしょうね。



1学期後半がスタート

1学期後半が8月25日（金）よりスタートしました。8月4日（金）の平和集会を熱中症予防で中止としたため、約1か月ぶりの子どもたちとの再会です。

外遊びでしっかり日に焼けた子、理科の研究課題や図工のポスター・国語の読書感想文などを一生懸命に頑張った子、それぞれだと思います。夏休み中は、個人で計画的に課題に取り組むことが主でした。これからは、個人もですが、学級の中で協働して学ぶことの再開です。修学旅行やバス旅行もあります。様々な行事や活動が有意義なものになるように期待しています。

学校がスッキリ



8月20日（日）に育友会主催で、4～6年生の保護者の方にご協力いただき、除草作業をしていただきました。25日から登校する子どもたちが気持ちよく過ごすようにしていただけたことに感謝いたします。



情けは人の為ならず

このことわざは、「人にかけて情けや人のことを思ってしまった行動は、巡り巡って自分のためになる」という意味です。周りの人のために行動するとその人は、とても助かります。それは、同時に自分への信頼や感謝となります。結果、周りの人が自分の価値を高めてくれることとなります。一方で、その逆も十分にあり得ます。周りの人が嫌がることをすれば、自分への不信感や嫌悪感となり、巡り巡って自分の価値を下げてしまうこととなります。

1学期後半開始の全校朝会では、この話をしています。そして、人のために「いい貯金をしましょう。」と言っています。いい貯金をたくさん貯めて、武雄小をいい学校にしていきたいものですね。